

## 議 事 録

- 1 会議の名称 令和6年度 第2回 石岡市複合文化施設整備審議会
- 2 開催日時 令和6年7月8日(月) 午後2時から午後4時まで
- 3 開催場所 八郷総合支所1階101・102・103会議室
- 4 出席した者の氏名  
大澤会長、山本(幸)委員、鈴木委員、富田委員、中根委員、青木副  
会長、菊地委員、鵜田委員、原部委員、長谷川(貞)委員、甲斐委  
員、木村委員、長谷川(京)委員、渡邊委員、山口臨時委員  
事務局：市長直轄組織 浅田理事  
駅周辺にぎわい創生課 複合文化施設整備推進室  
瀬尾参事兼課長、長谷川室長、富田課長補佐、重藤係長、富  
田主任、江原主任技師、本田主幹  
受託事業者：株式会社横須賀満夫建築設計事務所
- 5 議題
  - ・建設地について
  - ・施設計画について
  - ・メインホールに求める機能について
- 6 審議の概要
  - ・議事録のとおり
- 7 担当課の名称 市長直轄組織駅周辺にぎわい創生課(複合文化施設整備推進室)
- 8 議事録
  - ・出席者が規定の定足数に達していることを報告(委員19名中14名出席)

(1) 議事

■事務局

それでは定刻となりましたので、これより令和6年度第2回複合文化施設整備審議会を開会いたします。

本日の出席委員は14名であり、本審議会条例第5条2項の規定を満たしておりますので、ご報告いたします。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。初めに大澤会長より、ご挨拶いただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

■大澤会長

暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今日の議題は建設地の絞り込み、また施設計画やメインホールに求める機能等について議論したいと思ひます。

この暑い中、今の公共施設はクーリングシェルターとしての役割もあり、場合によっては、このような役割も検討していく必要があるのではないのかなと思ひております。地球温暖化で個別冷房というよりは公共の冷房だとか、あるいはそこに集まって、新たな交流が生まれるとか、そういうこともあるのかなと思ひます。

今日は90分程度で議論を終えたいと思ひます。

皆さん積極的に発言をいただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

■事務局

ありがとうございました。

それでは議事に入りたいと思ひます。

これ以降の議事進行につきましては、大澤会長にお願ひいたします。

よろしくお願ひいたします。

■大澤会長

議事録署名委員を2人指名したいと思ひます。

1人はL委員、そしてH委員の2人にお願ひしたいと思ひます。

よろしくお願ひいたします。

( 了承 )

それでは議事に入ります。

議事(1)「建設地について」、事務局から説明をお願ひします。

■事務局

( 資料説明 )

■大澤会長

事務局案として、鹿島鉄道跡地を最終的な建設地とする提案がありました。  
質問等がありましたらお願いいたします。

■F委員

説明ありがとうございます。

その中で、3ページの建設候補地ってということについて、図面にいろいろこう書いてあります。線路から建物は何メートル離れているのか。

■事務局

正確な資料はございませんが、航空写真や図面等から計測するとおよそ12メートル程度かと考えております。

■F委員

何となくあそこは狭いかなというイメージがあります。この図面からだと線路から12メートル離れたところに、この建物が書かれていると理解していいのか。

■事務局

敷地境界までのラインとなりますので、実際は敷地境界いっぱいには建物を建てるわけではないので、さらに遠くなるかと思えます。

■F委員

ありがとうございます。

■大澤会長

ほかにいかがでしょうか。

■E委員

2つお聞きしたいです。1つは、鹿島鉄道跡地のほうが本当に適当な土地だと思いますが、合わせて駅東駐車場を整備するというお話でしたけども、駐車場から複合文化施設までの接続といいますか、プロムナードのような道ができると思いますけれども、例えば、雨の日でも対応できるような屋根付きになる計画がありましたら、お聞きしたいです。もう1つとして、音響設計のほうで、新たに永田音響設計の名前が出ていますけれども、海外でも、音響設計をしているため、日本で一番有名な会社かと思えます。当然入札等で決まってくることは思いますが、候補の1つとして、永田音響設計が入っているのでしょうか。その2つです。

■事務局

1点目の駐車場に関してございますが、鹿島鉄道跡地に本体を建てた場合、敷地内に駐車場を相当数準備できるものと考えております。合わせて市営駅東駐車場からのアクセスでご

ざいますが、現在石岡バスターミナルへの連絡通路を通過して、東西自由通路下を通るようなルートが考えられますが、こちらに関しましてはシェルター等を整備することによって、雨天時でも、雨に濡れることない動線を作っていくのではないかなと考えております。

2点目の音響に関しましては、もちろん現時点で個別具体的な業者等、何か特別決まっていますませんが、当然基本設計、実施設計進めていく中では、いろいろな方式を今検討しています。その中で、音響設備の特性を持つような業者からアドバイスを受けられる方式も検討していきますので、音響等のよりよいもの、よりよい施設、そのようなものにも対応できるかなと考えています。

#### ■M委員

この建設候補地の3箇所のうち2箇所が適地と判断するというのはわかりますが、なぜいしおかイベント広場は載せないのか。いしおかイベント広場もちゃんと見せて3箇所の候補地のメリット、デメリットをもう1回よく判断してほしい。あとは今から建物を作るわけですが、その建設費用はいくらお金がかかるか、その3つを考えていければなと思っています。どうでしょうか。

#### ■事務局

2点ご質問あったかと思えます。

1点目のいしおかイベント広場は今回の資料に載っていなかったということですが、当審議会としましてはいしおかイベント広場を含めた3箇所で、いろいろな比較検討を行ってきました。昨年度、8回審議会を開催してきて、昨年2月に鹿島鉄道跡地と市営駅東駐車場の2箇所が適地だという判断をしてきたかと思えます。つきましては、いしおかイベント広場が含まれない比較資料となっています。

2点目は建設費用からの判断ということになりますが、現在事務局においても、概算事業費の算定作業に入っています。そちらについては、各建設地毎の比較ではないと考えていますので、ご理解いただければなと考えています。

以上でございます。

#### ■L委員

事務局案で鹿島鉄道跡地ということで示されましたけど、その場合、市営駅東駐車場の再整備ということで、現在の駐車場の状況を見ますと、結構満車の状態であり、今後その整備を行っていく段階で、駐車場の増設や立体化等について、事務局で考えているのかが1点。

もう1点目ができればいろいろな参考事例をあげるときに、建設費も参考に載せていただきたいです。おそらく建設費についても、今事務局が確かめている中で、私どもも共有できると思いますので、建設費も必ず載せていただきたいなということです。

あと先ほど、M委員のほうから出た3つの内1つのいしおかイベント広場についてですけども、今回3名の議員が石岡市複合文化施設整備審議会に委員として参加していますが、議員全員が出ている複合文化施設建設特別委員会については、皆さんに知っておいていただきたいですけども、3案が出てきている状況ですので、今のような説明が出てしまうことも、しょうがないのかなと私は判断しております。あくまで審議会は審議会で行くというスタン

スですけども、今の質問について、そういった点をご理解いただければなと思います。

■事務局

ありがとうございます。

1点目、市営駅東駐車場を整備していく考えでございますが、庁内の駐車場所管部署と調整をしまして、現在の利用状況確認、必要台数の算定、複合施設文化施設における必要台数、そういったものをすべて勘案しまして、台数を考えていきたいと思っております。立体化駐車場についても、現時点においては可能性を否定するものではございません。

2点目の建設費に関しまして、L委員のおっしゃる通りで、当然そういったものが見えてくれば、より議論がしやすいものと考えております。施設全体の建設事業費に関しましては先ほどのご説明の通り、現在算定中となりますが、その他にも例えば単価の部分であったり、何か目に見える形のご説明、プラスアルファできるものがあれば、そのようなものご提示していきたいと考えています。

3点目いしおかのイベント広場に関しましては先ほどの説明と重複してしまいますので、割愛させていただきます。

■J委員

資料1の8ページ目の一番下のところの説明で用途地域の変更が出てきますが、用途地域が第一種住居地域で複合文化施設を建てる場合なら、用途地域の変更は必要になるのがわかります。その手続きがどういうデメリットなのか。もうちょっと詳しく教えていただきたいです。

■事務局

用途地域の変更に関してはそのスケジュールにおいて、無駄なくできるように、スケジュールは組んでいきますが、基本的にその用途地域の変更自体は相応の時間がかかります。通常であれば、1年程度かかるものと考えております。あとは関連部署との調整において、都市計画課、都市計画審議会等との調整が発生します。

■J委員

わかりました。変更に関わる内容について、不要等の補足を加えたほうが良いと思えます。合わせて6ページ目のところで、2つの場所のメリット、デメリットの比較がありますが、デメリットのところ市営駅東駐車場の前面道路が狭くて交差点の拡幅が必要と書いてありますが、建設地を決める上でのデメリットは大きいと思っています。道路交差点を拡幅するというのは手続きや工事にかかる費用もかなりかかります。そちらの内容を8ページのところに書いたほうが、根拠として周辺の道路状況についても書いたほうが良いのかなと思いました。

■事務局

J委員のおっしゃる通りです。交差点の拡幅は大きな観点かと思っておりますので、整備においてはそのようなものも含めて、考えていければと思っております。

■ F 委員

今の話だと、バスの問題で前回も、まずは道路を広げてバスを通れるようにするみたいなことを言っていたような気がします。その辺りはどうなのかなと思っていて、この前の会議の中で議論したような気がします。資料を整理していただきたいなって思います。

■ 事務局

市営駅東駐車場に関しましては、今後改修や整備をしていきたいと考えております。市営駅東駐車場の出入口の拡幅も必要となる可能性があると思いますし、大型バス用駐車場も整備ができればと考えております。そのようなところを含めて今後の課題になってくるかと思っております。きっちり検討していきたいと考えております。

■ L 委員

書き方的に、バスの進入やトラック搬入するには新たに民地の買収が必要というようにわかりやすく書いたほうがよろしいかと思っております。交差点の整備というよりは民地の買収が必要です。

■ 事務局

ご説明の仕方かと思っておりますが、そのようなところは今後、気を付けたいと思っております。

■ D 委員

先ほど、L 委員からお話がありました。いしおかイベント広場が議会とか委員会で、まだ話出ているということがありましたので、1つ意見としては、私も音楽活動をしております。石岡市は本当に音楽専用のホールがない状況で多目的ホールがあっても、それは前にも繰り返し申し上げた通り、反響板の設置がないということです。

国の事業だと思っておりますが、国道6号のバイパス工事も相当の時間が要して、私が小学校2年生の頃に国道6号バイパスという話があり、ちょうど今のカラオケ館の辺りが初めの案で、そこを通すという案でした。どんどん小美玉に近づいて、何回も変更されて、未だに工事が遺跡の発掘等によって遅れるということがあります。部分によっては完成していますが、そこで工事がストップしていて、なかなか完成に至らないということがあります。

やはり本当に早急にホールが必要かなと思って、繰り返しになりますが、今の小学校にいる子たちは本当にあっという間に大人になってしまうと思います。国分寺跡の周りですと、工事がスムーズにいかないってことは誰もが想像できることだと思いますので、そのところを十分に検討していただいて、石岡市はスピーディーにホールを造っていく必要があると考えます。

ホールで音楽を聴くことができないまま大人になってしまっていて、もしかしたらそのまま石岡を離れて巣立ってしまうことで、ほかの子とは違うということはすごく残念なので、そこを、委員会や議会でも取り上げていただけたらなと思います。

お願いします。

■大澤会長

議事録にはちゃんと残ります。  
ほかにご意見はありますか。

■K委員

事例のほうの資料で見ると、線路の近くで建物が問題ないという資料ですけども、実際に事務局は確認しに行きましたか。

■事務局

この3施設のうち、長野県茅野市民館を視察させていただきました。

■K委員

行ったとすると、そのメリットデメリットと稼働率とかその他の部分に関してちょっと、聞けることがあれば聞いてみたい。

■事務局

個人的な感想になってしまう部分もありますが、実際行くとかなり線路に近い印象があります。本当に目の前という感じです。

施設の立地に関しましては本当に、今回、鹿島鉄道跡地の立地に非常にすごく似ています。2005年施行の建物ですが、実際に電車が通ったときには、ほとんど聞こえないなという印象を受けております。その他、施設の利用に関しましては、近隣に似た施設がないということで、かなり人気の施設という説明を受けました。

補足になりますが、開館が平成17年10月1日、敷地面積15,500㎡、建築面積約6,000㎡、延床面積が約10,800㎡の建物となっております。K委員の稼働率という部分につきましては、稼働率約70%ということでお伺いしております。

こちらの施設につきましてはマルチホール、それからコンサートホール。アトリエといったものが含まれている複合施設となっております。

ホールにつきましては、可動式座席になっておりまして、広場平土間でも利用ができるような形態となっております。可動式で平土間にできるということで、音楽イベントや文化芸術イベントのほかにも、展示会やクラフト販売、あるいはワークショップ、3on3会場、プロレス興行として利用される等、幅広い利用がされているようになっておりました。

■K委員

メリットはありますか。

■事務局

視察して感じたとは、茅野駅の自由通路から直結で施設に入ってくる部分が図書スペースになっておりまして、我々が視察に行ったときも、多くの高校生が利用していました。それから駐車場につきましては、敷地内に約100台の専用駐車場があり、イベント時はそれだけでは足りないので、周辺地域に分散させる形で駐車場が整備をされておりました。

分散させて歩いていただくことが、逆に地元の商店街のお店を利用する機会を生み出すという話もいただきました。

■ K委員

総事業費はいくらですか。

■ 事務局

総事業費は約50.6億円。

■ L委員

先ほど、D委員の意見について、M委員と私は決して駅東駐車場を反対しているわけではありません。説明が足りなかったので、説明させていただきますと、どうしても同じように開催されている複合文化施設建設特別委員会に出てくる資料とこちらの資料が違うものなので。それが本音です。その中でやはりこちらのほうがすごく詳しくて、統一感がないです。私はどちらにも出ているものですから、そちらだけの考えで進んでしまうと、偏ってしまっていて、ある程度共有した認識の中で進めないと、せっかく中間答申や最終申を出しても、ずれてしまっただけでは本当におかしなことになってしまいますし、あといしおかイベント広場に関しても、何分の1かは遺跡調査も終わっていますよね。多分、その報告について、私は途中からなのでわからないですけど、報告されてない。

そういう認識のずれなんかもあるので、できれば事務局に統一してほしい。

遺跡調査は終わっていますよね。

■ 事務局

10分の1が調査済みとなっております。

■ L委員

そうするとついでに聞いてしまいますが、複合文化施設を建てるとすれば、遺跡調査は何年かかりますか。

■ 事務局

調査と調査報告書をまとめるので、1年から1年半程度です。

■ L委員

1年から1年半でできますか。

■ 事務局

早くて1年から1年半です。

■ L委員

了解しました。



そういった経緯があつて、オブザーバーの人もたくさん来て、考えて、両方来ている方も、そういう認識かなと思います。そういったことなので、正直今の議会もどちらかに思いはありますけども、偏った見方をする方っていうのは数名だと思います。

■ E委員

1つ確認ですけども、いしおかイベント広場について私は昨年、推すほうだったけれども、先ほど話がありましたように発掘調査のほうも進んでいるという報告もあつて、その残りの部分についても今お話ありましたように、1年から1年半かかるからということでした。様々な理由で、いしおかイベント広場のほうは中間答申においては、もう消えてしまつて、駅のほうが残つたということでしたが、もし、議会の話の進め方によっては、また復活するということはあるのでしょうか。ちょっとそれ確認したいです。

■ 事務局

中間答申を受けまして、市長のほうで議会でも答弁している通り、駅を中心にとということで市長は進めておりますので、基本的には駅の2箇所うちの1箇所なると私どもは考えております。

■ 大澤会長

ほかにご意見はありませんか。

それでは当審議会としましては、事務局提案の鹿島鉄道跡地を最終的な建設地としていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

( 特に意見なし )

■ 大澤会長

反対意見がなく、委員の皆様にお認めいただきました。

それでは、議事(2)「施設計画について」、議事(3)「メインホールの求める機能について」、事務局説明をお願いします。

■ 事務局

( 資料説明 )

■ 大澤会長

ご意見等がありましたら、お願いいたします。

■ E委員

ホール設計の写真を見ていまして、オーケストラピットを設けている施設というのはあるのでしょうかということが1つ。

あとは、舞台周辺の機能構成のところ、ふじみ野市のほうは楽屋と会議室等兼ねた部屋をいくつも用意してありますが、水戸市民会館のほうは楽屋が独立していまして、併用され

ていないですけども、以前、合唱連盟のほうに関わっていたときには、会議室や団体の控え室として使用する必要がありました。そういった点ではふじみ野市のような控え室、会議室等を兼用できる部屋のほうが、イベントのときには使いやすいのかなというふうに思います。その辺の計画等ありましたら、教えていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

#### ■事務局

こちらに配布しております資料の4施設において、オーケストラピットは付帯されてございません。

続きまして、全体の楽屋でご意見ありました、ほかの部屋としての活用やある程度の大きさを備えた楽屋を会議室として開放する。もしくは楽屋といった内容というのは、先ほど、施設計画の機能相関図でも示しましたように、1つの部屋で、多くの機能を要する。もしくは、一体利用できるといった施設の計画の構成イメージと連動してくる部分でございますので、ただ単に活用部分として構成するといった形だけでなく、隣接する部屋の配置であったり、当然ながら、総工費、総面積との兼ね合いにおいて、企画提案、デザイン等において一体利用できるような設計協議等をしていきたいと考えております。

#### ■E委員

オーケストラピットを持たないということについて、オーケストラピットは必要ないのかなと思います。オーケストラピットが必要になってくるものとしては、バレエ、オペラであるとか、舞台芸術を支えるためにオーケストラを呼びましょうということではないかと思えます。当然、オーケストラピットがないと将来的に行われるイベントも限定されてくるところもあるのかなと思いますが、それでよろしいのかどうか。もし考えがあれば、お聞かせください。

#### ■事務局

メインホールの機能構成でお示しさせていただいたように、今後決定していかなければいけない部分や可能な限り検討協議するというのが一番右側の列にございます。そこに舞台設備、オーケストラピット、奈落、花道といった部分がございます。当然1つの舞台において複数の設備、大きな機能というものが反映されていけば、多くの利用構成というものは広がっていきますが、こちら先ほどご説明させていただきました通り、設計の提案の要素でどこまで総工費の中に織り込んで、吸収することができるか。もしくは必ず含めるべき内容として、仕様に入れるのか。こういった部分については、より詳細に私どものほうでも、どこまでを設計条件として必要なのか考えております。

#### ■F委員

ありがとうございます。メインホールに求める機能という議論をしていますが、ちょっと何とも言えませんが、この資料を見て、何か自分の中でワクワク感が出てこないというところが正直あります。メインホールは誰が使うのだろうか、本当に駅に近くにした理由としては、電車利用者がいっぱい来るのか、それとも市内の小中高校生たちがいっぱい来やすいか

らそこにしたのか、駅近ってということも考えて、じゃあ誰がそこで一番使うのかというところを、もう少し議論されてももっともっと深掘りしていかないと、E委員が言ったようにオーケストラピットはどのくらい年間使うのかとか、そういうところはちょっと自分もわからないので、ホールについてはちょっとわかりませんが、設計する段階において、設計者の方に言いたいのは、コストを上げるような設計を出してくると思います。やっぱりいいものを造りたいから、設計者はそこではなく、いかに使い勝手がいいかというところを設計要素の中に入れる。そこを重視してコストを下げるのを一番として設計を組む。今はそういうところを議論していったほうが、現実味にあるのではないかなと思います。今後40年50年使うものですから、その辺をやっぱりみんなで検討してほしいです。また、安全の部分やクーラーの問題、地震の問題とかもありますので、そういうところは、議論していかないといけないのかなと思いました。

#### ■事務局

今、ご意見いただいているように、コストというものが、昨今、建設事業においては、一番大きな問題となっておりまして、労務費、資材費といったものが近年高騰しております。

その一方で今ご意見いただいたような、ワクワクしないという言葉をいただきましたけれども、コストはもちろん一番大事な部分なので、そこを重視してやっていきたいのですが、単に施設ができたというだけじゃなくて、限られた予算や事業規模を建設面積の規模の中でも、これだけものができたねというふうに見てもらえるように、設計者、もしくは施工者にもアイデア提案という部分が出てくるかもしれません。しっかりと検討して、事業の進行、監督等もしていきたいと考えております。

すいません補足ですけれども、E委員、F委員からお話ありましたように、具体的にオーケストラピットをどうするかというのは、今の時点では結論は出にくいと思いますが、F委員からお話がありました、誰をメインターゲットにしていくのか、この施設はやはり当然市民の皆様幅広く使っていただきたく、利用することで文化芸術に触れる。それは見る人もそうですし、実際舞台上上がって、演じていただく。いろいろな形で携わっていただけるようなホールにしていきたいという思いはあります。そういった中でどういった機能が必要になっていくかというところは、事務局としてしっかり整理をしていく必要があると思っています。

もう1点、今まで文化芸術に触れる機会が少なかった、若い人に積極的に参加をしていただきたいという思いはあります。ここについては基本構想にもあります通り、文化活動の地域移行の活動拠点の1つとして選ばれる施設を目指しているという部分もありますので、中高生の文化活動に必要な機能を積極的に整備していければと思っています。

例えば吹奏楽部でしたら、普段、大きい楽器を移動するのは大変負担がかかりますので、備品庫を設けるとか、そのような面はしっかり検討していきたいと思います。

F委員が言う、ワクワクについては、今後しっかりハード面、それからソフト面の両方の面で市民が、ワクワクしていただくということは非常に重要な要素だと思っていますので、しっかり検討していきたいと思っています。

## ■ F 委員

いや、違うんですよ。

自分が言っているのはホールもそうですけれども、この図書スペース、キッズスペース、民間テナント等、10年後20年後に皆さんがそこに来てもらえるように考えるのであれば、商売というか、商業をどう巻き込むかっていうところを地域のためには必要だと思います。例えば、有名珈琲店が入っていると、そこに人が来たり、マックが入っていたら、子供たちは喜ぶし、その何ていうんですかね。都内であれば、そこに企業が入ってくるから、そこで成り立って街ができますけど、行政だけで考えるのではなくて、そこにいろんな人を巻き込む要素を入れないと、そこにワクワク感が生まれれないということです。

一遍に巻き込めるかっていうところだと思いますので、そこを検討したいですよろしくお願いします。

## ■ A 委員

ホールに機能に関して、メインではないと思いますが、やっぱり災害に対して、このホールはどういう機能を取るのか。この資料のホールは普段はワクワク感のホールですが、もしものときに、この施設がどう市民を救済するために役立つかという視点で、もう1回数字を入れていただきたいなと思いました。

南海トラフに備えた施設を見学する機会がありましたけど、1階の多目的ホールが開けていて、市民の人に貸し出しをしています。いざ地震が起きた場合に着の身着のままの人たちが、3,000人が寝られます。物資についても地元のスーパーと提携しているので、新鮮な物資が届きます。

ホールも多分半分可動式に考えてくださっていると思いますが、可動式にすることで、電車の事故、台風、地震があったときに、何人の人がこのホールに避難することができるのかということと、あとそういう視点で見ると、調理室での炊き出しでも、お料理教室をやるキッチンと炊き出しを行うキッチンでは機能が違うと思うので、通常時と災害時のときの、2つの視点から、ホールの役割とかも見ていきたいなと思います。

あともう1点質問があります。デジタル文化のための部屋のスペースというのは、YouTubeとかの配信スタジオのイメージですか。そういうのがあると、災害時、独自の情報が配信できるのでいいなと思いました。

## ■ 事務局

ご意見ありがとうございます。

現状、災害計画、防災計画については現状まだ考えていない状況ですけれども、当然、先ほどの繰り返しになってしまいますが、設計と条件といった部分において防災計画といったものもごございます。こういったもので、どういった機能ができるか、逆に言えばどれだけの機能が備わっていれば、どれだけの人数や災害対応において、実施可能であるかというものをこの施設単体で見する必要がありますが、石岡駅西口には備蓄倉庫を備えたあんしんステーションが直近でできましたので、そのエリア一帯でどういった防災の対応ができるかというものもエリア全体で見て対応できるように、今後検討して参りたいと思います。

それと2つ目にありましたデジタルスペース等の部分ですけれども、現在考えています

が、例えば配信という形よりは、通信機能、無線機能を備えたフリースペースであったり、単純にゲーム大会とか、イベントが来て、開催できるような機能等、使い方がとらわれないような形で今のところ考えています。ただ、いろいろな使い方の案については様々あると思いますので、どこまで基本機能として備えるかというのは、どんどん工程を進めるにつれて詰めていきたいと思っております。

#### ■ A委員

無線とゲームのための部屋っていうのは、すごく狭いなと思ったので、やっぱりスタジオ機能は家にはつくれないと思いますので、この部屋に関してはちょっと広く、もう1歩、考えていけたらいいのかなと思いました。

#### ■ 事務局

1点補足ですが、石岡市における避難所に関しましては石岡地区、八郷地区合わせて現在39設定されておりまして、防災危機管理課のほうで毎年訓練を実施する等、有事の際にも対応できる体制をとっております。

現時点において施設が避難所となるということにはなっておりませんが、当然、施設規模も大きいですし、有事の際には一時避難所として対応していけるものと思っておりますので、有事の際にこの施設がどういった役割、どういったことができるのかということは庁内全体で考えることと捉えておりますので、その辺は検討していきたいと考えております。

#### ■ D委員

県庁や県の施設も、すごくカフェが増えている印象は多分県民の皆さんが持たれているのではないかなと思います。県庁の11階はもともとカフェがあり、おしゃれにリフォームされて、25階の最上階のところも、今、人気のお店が入ったりして、本当にお子さんとかがたくさん利用されているなという印象があります。スターバックスが第3の居場所と言われていきますけど、きっと若い人たちはそういう場所を求めているのかなと思うので、その視点は私もすごく、大事ではないかなと思います。

メインホールの機能に戻りますが、水戸市のように市民会館、文化センター、それから芸術館、本当にホールの大きさが様々で、フルオーケストラからすべてホールで対応できるということや小美玉市もフルオーケストラやオペラができるというホール機能をたくさん持っています。

今から石岡市が造るのは1つなので、それが例えば先ほど出た、オペラは1回かもしれないですけども、幅広く、いろいろなものに耐えられるということを考えて造っていくということではないかなと思います。制限ではなく、できるだけ対応ができるようにする。その一方、お金の話はもちろんついてくるとは思いますが、全国に同じような状況の市町村があると思いますので、その点を考えていただければなと思います。

よろしく申し上げます。

#### ■ 事務局

幅広くいろいろなことに対応できる。ここをまず重要な点ととらえて、進めさせていただ

ければと思います。

#### ■ G委員

先ほど、E委員、F委員のお話を受けまして、思ったのが、例えば、客席数が600から800ホールでオーケストラピットが必要な規模のオペラ、バレエ、ミュージカルを仮に開催するとした場合に果たして、チケット代はいくらぐらいになってしまうだろうと考えまして、多分すごい額になるはずだと思います。

どこからそれを聞く人たちがやってくるのだろうかとか、いろいろなことを考えたのですが、そう考えると、コンサートホールは本質的にはワクワクしに来るところだと思うので、このホールからどんな魅力を打ち出して、どうやって人々をワクワクさせるのかというところからスタートして、客席数はどうするのか、設備は何が必要なのかというところを考えていくというのが現実的なのかなと考えました。

部活動の地域移行の話もありましたが、吹奏楽部はこれから学校から離れて、地域がおそらく活動のメインになっていくと思われれます。そうなったときに一番の課題は、楽器の問題、会場の問題。ここが大きいと思います。大物打楽器をどうやって確保して、どう管理して、どう運搬するのか。それを確保や管理して運搬するだけでもランニングコストかなりかかります。そうなったときに例えばホールに行けば、打楽器が全部そろっているという条件が整えば、おそらく、様々な地域から利用してくれる人達が集まってくるのではなのかなと思います。当然、この地域の吹奏楽の活動の拠点に必ずなってくると思いますので、私としてはぜひお願いしたいなと考えます。

よろしく申し上げます。

#### ■ 事務局

今後の参考にさせていただきます。

#### ■ I委員

皆さんの前提の意見としては、多様性を持ったホールというのが原則になっていますので、どうしてもいろいろなものを取り入れたいというのは、やむを得ない議論の姿だと思っております。石岡市としては、合併したことで、合併前よりは財政力は強くなっている。ただ、今回のホール建設にあたってのシミュレーションがないので、おそらく皆さんは見えないうのが、ある意味で大変だと思っています。その中でバランスを考えて財政計画での提案の予算というのは、提示されてくるのかなと思います。特にこの多機能すべてを取り入れるということは、特徴は薄れるし、むしろ石岡市としては、ここに書いてあります創作活動という部分で何を育成するのかが、はっきりしてれば、先ほど出た楽団やあるいはオーケストラ等のスタイルを作っていくことが具体的に書いてあれば、楽器の保有、さらにそれを地域の人が利用するような形も生まれてくると思います。石岡市として、どれだけ新しいチャレンジをして、石岡市の芸術文化というのが明確になれば、諸機能に対する諸室も含めた、視野の中で、かなり明確にお互いが見えるかなと思います。

そこはデジタルの問題もそうですが、eスポーツがあれば、当然大ホールの欠点は、個室になってしまうので、多機能には使いづらい、ただ静寂の素晴らしい空間という、良い点が

あるということで、その空間でeスポーツをやるのであればW i - F i等の機能整備をしないと、非常に金がかかります。例えば映像機能をちゃんと作っておくことや今だとブレイクダンスができるとか等、若者の意見を取り入れることで、石岡市として育成や特徴があると、お互いに議論しやすいなと思っています。そうしないと限られた予算が50億60億出てきても、想像できないので、その辺だけが一番心配です。皆さんと大切な議論をできる委員会でもっとワクワクを目指していけば、いろいろできるかなと思っています。

#### ■事務局

昨年同審議会において、皆様からいろんなご意見いただいている中でソフト事業における主目的、誰に使う、このような部分はもちろんそのものすごく大事なことでと考えております。そこが明確になってくれば、ここでご提示させていただいた機能であったり諸室であったり、重点を置くポイント、こういうところがより明確に浮かび上がってくると、我々も考えております。

次回以降で、ご提示ができればなと考えております。

#### ■H委員

はい、ありがとうございます。

このホール自体がどういう特徴を持たせるのかというのが非常に大切だと思います。ここにいろいろな人を集めるには、本当に文化芸術はもちろんのこと、商業スペース、コミュニティの場、あるいは緊急事態の対応とすべてオールマイティーできれば一番良いが、その中で、最終的にコストを考えるということになってしまうと思います。

先ほどお話がございました通り、その中でも、例えば、石岡のホールでしかできない。石岡だけの特徴があるというものがあれば、そういう関連の人はここでしかできないのでここに来るしかない。ほかには行けないという非常に強いイメージになってくると思うので、皆さんのいろいろなお話を聞きながら、最終的には絞り込みを行って、特徴を持たせるのか、あるいは全体的な機能を持たせるのかというのが、最終的な判断になっていくと思います。それに伴って、コストをどう対応させながらどのようにしていくかというような気がいたします。

以上でございます。

#### ■B委員

先日、水戸市民会館を利用する機会がありまして、初めて入ってホールを見て驚きました。椅子が大きいですよ、大きくて座り心地が良くて。私は県民文化センター、今のヒロサワシティのイメージがありましたけど、あそこは小さくて肩を狭めるしかなく、水戸市民会館なら肩を広げてもいい。立派な施設だなというふうに思いました。ぜひ石岡で作っていただけるのであれば、私のように体重85キロぐらいの人がちゃんと座れるシート良いなと思いました。

私は妻に誘われて、音楽を聞きに行きますが、座っている椅子が小さいので辛い。音楽が本当に好きな人だったら、2時間3時間そこに座っていられますが、私、特に音楽が好きなわけではないので、椅子が大きいついていうのはありがたいなと思います。

それと、水戸市民会館を利用したのは、実は関東地方の小中学校の校長が集まる関地区中っていう集まりでした。水戸の駐車場が埋まって行けないのではないかという不安がありました。場所は駅の近くと思いましたが、調べたところ、駅から20分ぐらい歩かないと、確か水戸市民会館って行けないんですね。他県の校長たちは20分ぐらい、夏の暑い中汗をかきながら歩いていました。私はうまくバスに乗れました。駅の近くにホールがある施設というのはすごく便利だなと、その時感じました。

先ほど、部活の地域移行の話も出ていましたけども、中学校によっては部員が10何人しかない吹奏楽部もある状況です。そういう状況の中で、このホールを使うというのは、それはもったいないないだろうと思いましたが、先ほど、地域移行でいろいろな学校の子供たちが集まってそこを利用して、そこに楽器が置いてあるという理想的な話を聞くと、それだったらそこで音楽の良さを味わって将来感性豊かな子供が育っていくのは大賛成だなと思います。

石岡は体育館があったり、野球場があったりして、スポーツ施設はある程度整っているかなと思います。ぜひ、その文化の面でも施設があると良いと思っています。以上です。

#### ■C委員

今後、皆さんいろんなご意見があっいろいろな施設を入れて、あれもこれもやりたいというご意見がいろいろあると思いますが、今後ですね、やっぱりコスト面もありますし、あとは建設期間もいろいろな条件の中で、この施設計画について2ページ目の施設整備のポイント、この真ん中の辺りが一番重要なところだと僕は思いました。取捨選択が必要になるところでもありますし、あとは皆さんが夢持って、ワクワクする施設ということで、ここにいろいろな思いを詰め込むという、その一番のポイントはここだと私は思いましたので、今後、楽しくも苦しくもある議論が続いていくのだなと思います。

#### ■大澤会長

それまでの議論について、事務局からまとめてお答えいただければなと思います。

#### ■事務局

いろいろご意見等をありがとうございました。

市民にとって建ててよかったと思っただけの施設をしっかり整備していきたいと思っております。皆様の意見を踏まえまして、我々としても検討を重ねていきます。また、次回以降でしっかり考えを示させていただきながら、ご議論いただければと思いますので、また引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

#### ■大澤会長

議事（4）「その他」は何かありますか。

#### ■事務局

その他として次回の日程でございますけれども、9月で調整をしております。



石岡のおまつりの後だと思いますが決まり次第、またご通知を差し上げたいと思います。よろしく願いいたします。

■大澤会長

今回の総括を青木副会長お願いします。

■青木副会長

暑い中、お集まりいただきまして本当にありがとうございました。  
事務局にお願いしたいのですが、あと何回、どういった内容でやるっていうのかをもし決まっていれば、ざっくりでいいですけど、お話いただけたきたいのですが、よろしいですか。

■事務局

現在の想定ではありますけれども、次回はその事業手法であるとか、概算事業費が算出されますので、そちらのご説明をさせていただきたいと思っております。

そのあと9月10月合わせまして、管理運営計画や事業手法をどのようにしていくかというお話を、また10月には合わせて最終答申の案につきまして取りまとめをして参りたいというふうに考えております。それを受けまして、現在基本計画の策定をしておりますので、11月に開催をしたときにご説明させていただきます。2月になるかと思いますがパブコメや説明会等を終わらしまして、最終案のご報告をさせていただきたいと思っております。現在のところ残り4回です。9月、10月、11月、2月ごろということで想定をしています。

■青木副会長

ありがとうございました。

いろいろと議論が出て、思っていること、やっていただきたいこと、こうして欲しいということの意見はある程度出たと思いますが、先ほど、I委員から言っていた通り、予算の中でどうやってこれを収めるかっていうことの議論が一番大切になってくるのかなというふうには私は思っています。次回、事業手法と事業費、事業費が出ると、何平米ぐらいの建物になってくるのか、その中でどうやって、何を含めるのかということが具体的に話をすることができるのではないかなと思います。もしそういった案が会議の前にでき上がっているとすれば、委員の皆さんにぜひ案内を出した上で、議論が深められればいいのかあと思っていますのでお願いします。総括ではありませんが、次回の進め方ということで、お願いしたいと思います。以上です。

■大澤会長

ありがとうございました。

青木副会長がおっしゃったところかなと思います。予算制約の中で、何を入れて、何をするのかというところの議論はしたいと思っております。今日も議論いただきましたけど、ある意味空中戦になって、ちょっと締まりのない内容になってしまいましたが、審議会としては場所が決まったので、予算も出てくると思っております。予算とのつき合わせで、今日議論があった、

広くすべてなのか、深く絞るのか、防災機能をどうするのか等、整理が必要かなと思いますので、ぜひ次回はそれをお願いしたいと思っています。

それでは以上で議事を終了したいと思います。事務局にお返しします。

■事務局

会長ありがとうございました。

以上で議事を終了させていただきます。本日は暑い中、参加いただきましてありがとうございます。以上で、第2回石岡市複合文化施設整備審議会を終了させていただきます。長い時間ありがとうございました。